

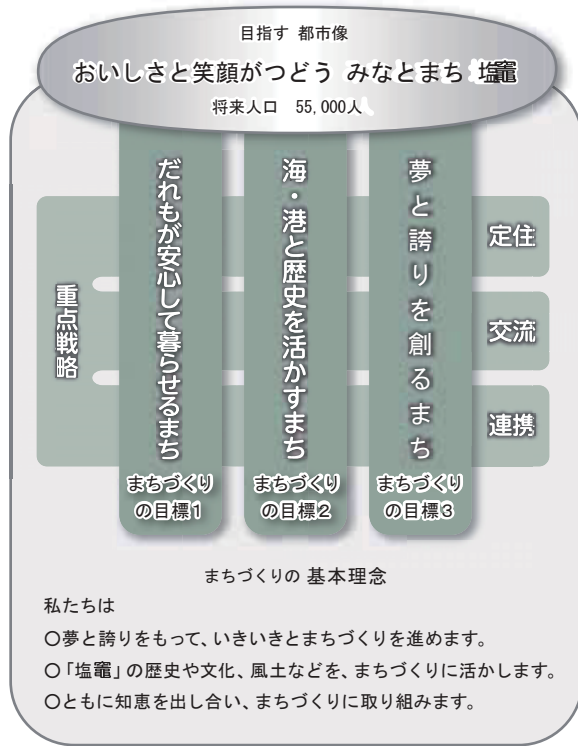
『おいしさと笑顔がつどう みなとまち 塩竈』の実現に向けて

第5次塩竈市長期総合計画の 中間総括を行いました

「第5次塩竈市長期総合計画」は、平成23年度～平成32年度の10年間に、本市の目指す都市像『おいしさと笑顔がつどう みなとまち 塩竈』の実現に向けた総合的なまちづくりの指針となる最上位の計画です。

まちづくりの3つの目標「だれもが安心して暮らせるまち」「海・港と歴史を活かすまち」「夢と誇りを創るまち」の達成に取り組んできた前期5カ年が終了し、折り返しを迎えています。

社会情勢の変化なども踏まえ、これまでの各施策の総括により整理された『課題や今後の方向性』は、まちづくりの目標の達成に向けて、平成29年度以降の事業の実施計画に反映させていきます。



問 政策課企画係 ☎355-56 31

目標 1

だれもが安心して暮らせるまち

ともに支え合う福祉のまちづくり

高齢者福祉の充実

- 介護や支援が必要な高齢者が、地域で安心して暮らし続けられるよう、急務となっている「地域包括ケアシステム」の構築に取り組む。
- 地域包括支援センターの中心的役割として、地域に根ざした生活支援体制の整備拡充、医療と介護の連携、認知症予防施策の推進を図る。
- 介護保険の効率的・安定的運営を目指し、事業計画を策定し、計画的な事業運営に努める。

地域医療の充実

- 「地域完結型医療」への転換に伴い、市立病院は2市3町唯一の公立病院として、地域住民が安心して必要な医療を受けられるよう、新プランに掲げた役割を担う。

安心して産み育てられるまちづくり

子育て支援の充実

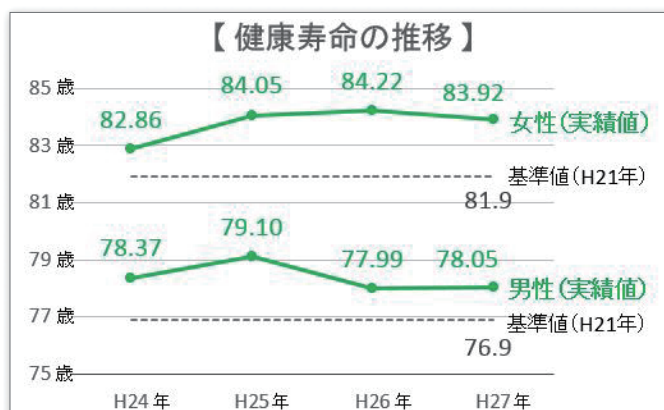
- 増加傾向にある発達障がい児に適切な療育環境を提供し、共生社会の実現を目指す。
- ひとり親家庭の増加、女性の社会進出などを背景として、多様化する保育ニーズに対応するため、低年齢児童保育の拡充など、保育事業の充実に取り組む。
- 保護者の就業支援の観点から、放課後児童クラブの運営の充実や地域ボランティアの活用などを図る。

地域社会による支え合いの充実

- 児童虐待やDVなどへの対応には地域ぐるみで子どもの見守り体制の強化が必要であり、民生委員・児童委員や関係機関などと連携し支援の充実に取り組む。

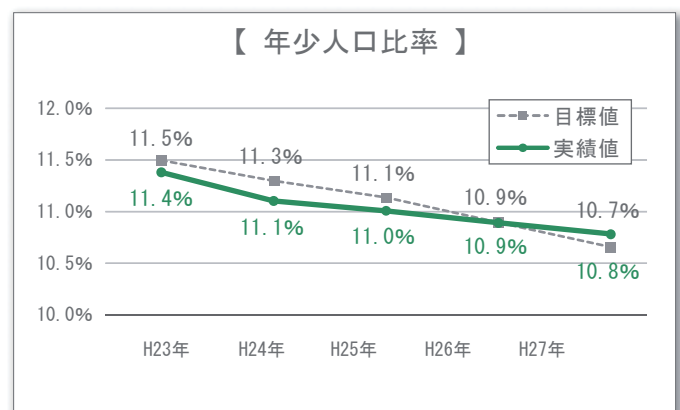
代表的な指標の推移

健康寿命（健康で自立した期間）については、長期総合計画の基準値（H21年度）の数値を上回りながら推移しています。

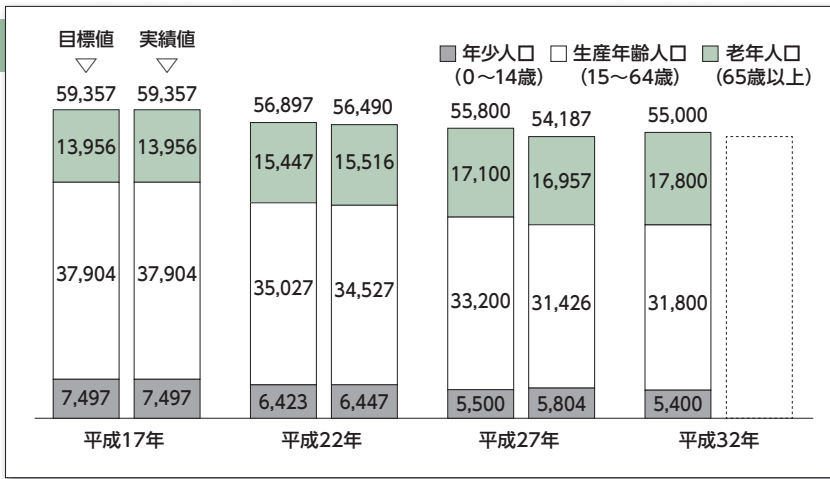


代表的な指標の推移

年少人口比率（0歳から14歳までの人口の割合）については、平成27年度において、長期総合計画の目標値とほぼ同水準に回復しています。



人口の推移



長期総合計画の目標値と
国勢調査の実績値との比較

長期総合計画では、本市の将来人口を平成32年において55,000人と設定していますが、平成27年国勢調査の実績値では、生産年齢人口(15歳~64歳)が目標値を約1,700人下回りました。これは、進学や就職などに伴う若年層の転出超過が想定を上回ったことが要因の一つとして考えられ、生産年齢人口の定住促進が課題となっています。

中間総括の結果を踏まえ、3つの基本目標の達成に向けて施策に取り組み、目標人口55,000人を目指します。

「中間報告会」を開催しました

平成28年12月17日にマリゲート塩釜で、長期総合計画の中間総括の内容を計画策定時の審議会や市民懇談会委員に報告する「中間報告会」を開催しました。20人の方に参加いただき、今後のまちづくりの方向性などに関するご意見をいただきました。



目標

3

夢と誇りを創るまち

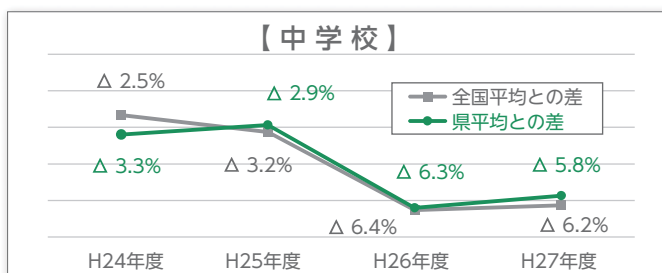
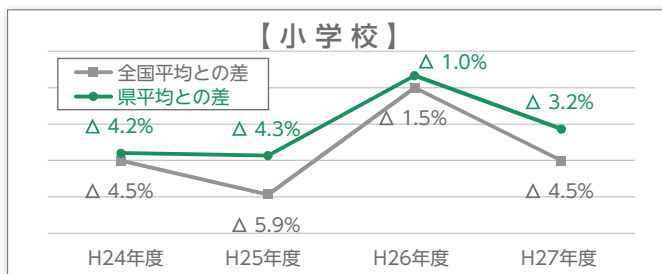
子どもの夢を育むまちづくり

生きる力を育む教育の充実

- 本市が目指す小中一貫教育では、各中学校区ごとに義務教育9年間を見通した学校教育目標を設定し、系統性・連続性を強化した教育活動の中で、児童生徒に「社会をたくましく生き抜く力」を育むことを目指す。
- 第4次塩竈市学力向上プランを基に、一人ひとりの児童生徒が「活躍する場」や「交流する場」を意図的に設定し「どの子にも『分かる・できる』喜びを味わえる授業づくり」を行う。

代表的な指標の推移

全国学力・学習状況調査の正答率については、現段階で大きな向上は見られていません。



目標

2

海・港と歴史を活かすまち

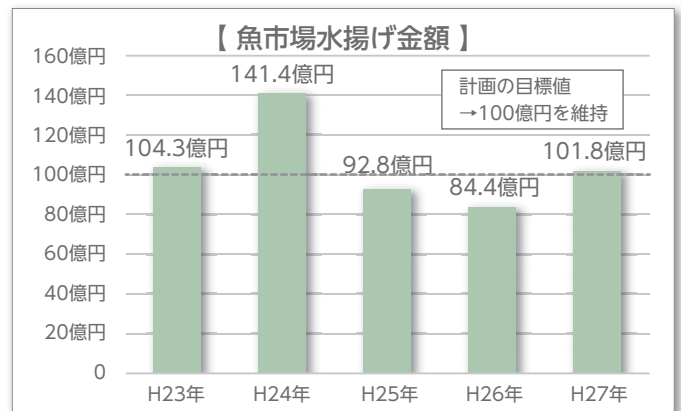
活力ある産業のまちづくり

水産業の活性化

- 新魚市場完成後の平成30年度からは、生鮮マグロの水揚げ維持や魚種の拡大での水揚げ増により、120億円を上回る水揚げ金額を目指す。
- 水産加工業の販路回復のため、輸出を含む販路拡大を図るとともに、不足する働き手の確保を行う。

代表的な指標の推移

現魚市場における平成27年の魚市場水揚げ金額(水揚げされる水産物の取扱い金額)については、長期総合計画の目標値と同水準となっています。



浦戸諸島の振興

- 東日本大震災により、住家、浅海漁業施設、観光資源に大きな被害が発生した浦戸地区では、人口流出や少子高齢化が大きな課題であり、これからも住み続けることができる環境条件の維持・創出、交流人口の拡大が必要である。